

碧志摩メグ公認問題についての協議記録（要旨）

平成 27 年 10 月 20 日

【協議者】

市長、XXXXXXXXXX、商工観光部長

(XXXXXXXXXX)

商工観光部長に電話で申し上げたとおり、志摩市への配慮と同時に複数の企業からコラボ企画の申し出もあり、今後、碧志摩メグを自由に展開していくために市の公認については、取り下げしたい。

(市長)

市として、碧志摩メグのキャラクターは、PR ツールとして有効であるという考え方には変わらないが、話し合いの後においても、海女さんの中に公認を撤回してほしいという意見がある。市としては、この方たちの心情に配慮して、苦渋の思いではあるが、申し出をお受けすることにする。

(XXXXXXXXXX)

公認取り消し後においても、XXXXXXXXXXは、民間企業として引き続き、志摩市及び伊勢志摩の活性化のために、碧志摩メグを使って PR を行う。キャラクターデザインについては、今後地域に受け入れてもらいやすいよう、修正することを考えている。

(市長)

民間事業所として活動していただくことは問題ないと考えている。引き続き地域活性化のために頑張ってもらいたい。

(部長)

デザインの変更案については、海女さんに取り消し公表前に確認してもらおう。方法については、市で検討する。

碧志摩メグは、法的に問題がないことは確認済みであり、一部で言われている女性蔑視等には当たらないというのが市の考え方である。公認を取り消すことにより、他の萌えおこしを行っている自治体に迷惑がかからないよう配慮する必要がある。

※ 後日、XXXXXXXXXX内で検討の結果、キャラクターデザインは変更しない旨の連絡があり、市長に報告。このことにより海女さんへの変更デザインの確認の件はなし。

●商工観光部 部長説明（要旨）

このたび、碧志摩メグというキャラクターの件で皆様方には、ご心配、ご迷惑、また、市の説明不足のため間違った情報が流れていることにご迷惑をおかけしていること、誠に申し訳ございませんでした。

本当は、キャラクター作成時点で話し合いの場を持つべきであったのですが、これまで（別の）キャラクターを作るときにそういった話し合いがされてなかったということもあり、（今回も）話し合いの場を設けずにこのキャラクターを公認いたしました。

本日は、この場でキャラクター公認の経過と使用用途を説明し、そのうえで改めて皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思います。と存じます。

（公認のいきさつと市の考え方）

がレーシングバイクに萌えキャラクター（以下、萌えキャラ）を描いてレースに出場し、このことが現地の若者の関心を集めた。この経験から から萌えキャラの可能性を見出し、ゆかりのあった志摩市に萌えキャラを使った発信をしてはどうかと提案がされた。

市の観光戦略室と で相互にアイデアを出しながらキャラクター像が決められていった。さまざまな案があったが、志摩市には海女文化が根付いており、そういった風土に適したキャラクターとして海女をモチーフにした碧志摩メグが生まれた。

また、本キャラクターが本来の磯着ではなくアレンジが加えられた磯着を着ているのは、若者の目に留まり興味・関心を引くようなものにしたいという思いからである。

このようなデザインのキャラクターを受け入れられないというみなさんの気持ちは理解できる。しかしこういった萌えキャラを使った町おこしは全国的に広がりを見せており、他の自治体においても萌えキャラクターが採用されている例が多くある。

万人受けするとは考えていないが若い人に対しては親しみがあり効果的なデザインだと考えている。

提出された署名については真摯に受け止め、今後の方針に生かしていこうと考えている。インターネット上でも萌えキャラ公認に対する反対署名がおこっており、またその反対署名に対する署名もおこっている。

但し志摩市としてはネット上の運動について一切関知しない方針であり、今回の件についてはあくまで志摩市の内部のこととして処理したいと考えている。

本日は提出された署名について話をしたい、誤解を解きたいという思い、また志摩市として行き届いていなかった部分についてしっかりと謝罪したいという思いからこの場を設けた。

ポスター3000枚の作成費用、デザイン料も が負担している。

ポスター配布時にアンケートを採り、その結果は好評だった。300人のうち多くの方が良い、13人が普通、1人が悪いという評価だった。当初は好評でマスメディア等からも本キャラクター

が絶賛された。

志摩市は、消滅可能性都市のひとつとして挙げられている。50年後60年後も志摩市を存続させていきたいと考えている。

志摩市は、観光関係や介護関係従事者が多い、特に観光の分野は観光施設や交通機関の職員だけでなくこれに絡み合う様々な職種が一致団結して盛り上げていかなければならない。碧志摩メグは万人受けしない、特に高齢層には受け入れられないかもしれない、ただ若い人には親しみのあるデザインでいろんな可能性がある。これまでとは違う切り口で志摩をPRするのも一つの方法だと思っている。

使い方は慎重にしたい。どこにでも持っていくというわけではない。

から提案があり、この切り口でのPRは時代の流れに沿ったもので志摩市もこの話に乗った。

本物の海女でないということは分かっている。PRキャラなので(磯着などの)アレンジはした。本物と切り離して考えて欲しい。若者に海女をPRするのは難しく、志摩に海女がいることは若い人にあまり知られていない。志摩にも海女がいるということを伝えていきたい。メグを通じて本物の海女と云うものを伝えていきたい。とも話したがこの意向に同意してもらっている。

## ●意見交換

### 【男性】

なぜ最初に海女さんにアンケートを取らずに勝手に決めたのか。公募でもなく一社からの提案をそのまま受け入れたのもおかしい。訂正、訂正と繰り返すのならば白紙撤回し、初めからやり直せばよい。

### 【女性】

300人にアンケートをとったそうだがその人の職業はなにか → 職業は聞いていない

### 【女性】

その回答者に海女0人と云うこともありえるのか → あり得る

### 【男性】

若い人に受けるということは、色気を売っているということである。これは海女を傷つけることになる。海女に問いかけて7割8割が賛成するならば良いがそうでないならダメだろう。キャラクターそのものはどうでもよいが、志摩市が公認したということが許せない。

### 【女性】

海女は自分の体一つで獲物を採り、それで生活している。キャラを見てそのプライドを踏みに

じられた思い。志摩にはこんな海女がいるのだと遊び半分で来られても困る。海女保存会があるが海女に直接還元されない。

海女をPRしたいのなら観光海女を募集したらよい。

このままキャラクター存続させるならデザイン変更の際には海女にもアンケートを取ってほしい。作るなら親しまれるもの、海女を馬鹿にするようなものにしてほしくない。

#### 【女性】

海女は特殊な職業であり。こういうことするなら相談してほしかった。次のデザインは決まっているのか。 → 決まってない。

#### 【部長】

キャラクターを通じて他の市町との交流の話が出ている。

本当の海女とPR用の海女が違うのはそのとおり。

海女は海に潜ってなんぼの商売。だが採って売るだけでは今はやっていけない、どうやって売るか、という部分も含めて考えていかなければならない。そのためにも海女がどういったものかも発信しなければならない。そのための手段として碧志摩メグがある。

#### 【女性】

海女が採ったということで付加価値をつけて売っているが儲けは商人が持って行ってしまう。私たち一次産業従事者が潤うような仕組みを作るのがあなたたちの仕事だ。

#### 【部長】

地方創生の取り組みとして、もちろん取り組まなければならない。ただ民間の協力も必要としている。

#### 【男性】

碧志摩メグに関して [ ] の意見を聞きたい。

#### 【 [ ] 】

バイクレーサーとして世界を見てきて、こういったキャラクターの可能性を感じていた。レーサーとして初めて戦った土地が志摩市と云うこともあり、市の活性化にキャラクターを通じて貢献したいと考えるに至った。キャラクター像を考えるなかで志摩市や海女の事について学び、命がけの職業だという部分で共感し海女のキャラクターを作ることにした。

キャラクターを通じて海女の事を知ってもらいたいとも考えている。実際にこのキャラクター人気を見た他の自治体が志摩市の大口市長に海女について学べる講義をしたいとの要請をしている。そういうきっかけを作ったということでメグには影響力があると感じており。このキャラクターで海女の事を誤解させるようなことがあればそれは申し訳ないことだと思っている。志摩市に訪れてもらうきっかけづくりをしたいと考えており、そういった部分で観光戦略室と手を組ん

でやっていきたいと考えている。

【男性】

若者が来ても海女だけで生活できる状況ではない。

【女性】

海女の後継者不足という問題は確かにあり、若い人たちの発想で志摩を導いていくというのは立派なことだ。海女という職業そのものを知らない人がいるので、海女の知名度を上げるような活動は海女にとってもうれしいことである。しかし海女のことを宣伝するのであれば、本物の海女を使って本物の海女を伝えて欲しい。

【部長】

本物の海女を伝えるためにもこのようなキャラクターを使うことは、今の時代は有効であると考えている。本物の海女だけでは若者の関心を引くのは難しいと考える。あくまできっかけであってそこから本物の海女について知ってもらいたいと考えている。きっかけとしてならばこういったキャラクターはあり。セクシーすぎるという意見はあるが、若い人はそのように感じていない人が多い。

【男性】

若い人を強調しているが、海女のことも考えて欲しい。このキャラクターを見て傷ついたという海女がいるという事実を市は認識しなければならない。

【部長】

それについては真摯に受け止めデザインの変更という形で対応していきたいと考えている。

【男性】

変更ではなく白紙撤回し、一からやり直したらどうか。

【男性】

市の公認を撤回してほしい。 ████████ がやる分には自由にやってほしい。

【女性】

デザイン変更ということは前のデザインは一切使わないということか。

【部長】

その辺りは絵の権利者の ████████ との話し合いになる。

【女性】

デザイン変更するとして新デザインは誰が決めるのか。

【部長】

絵の権利者の[ ]が決めることになる。ただし、極端なデザイン変更については、碧志摩メグというキャラクターの魅力がなくなってしまうので難しいのではないかと。胸の部分や裾の部分については今よりも表現を抑えることが可能とのこと。

【女性】

企画続行の場合、新デザイン候補が出来上がった時点でみんなに見せてくれるのか、それとも市の内部だけで決めてしまうのか。

【部長】

その場合はみなさんにも新デザインを示したいと思う。それでも駄目だというのであれば、公認の撤回も含め検討したい。

【男性】

公認の撤回はないのか。

【部長】

デザインについて協議を続けるなかでどうしても難しいのなら公認撤回もあり得る。

この問題について外部の人の間では志摩市と海女の対立しているという間違った認識がされており、志摩市や海女さんのイメージダウンになっている。私は、志摩市も海女さんも悪く言われたくないの、できれば話し合いの上で、デザイン変更という手段を採ることで、志摩市と海女、双方にとってより良い方向に進めたいと考えている。

もちろん、どうしても受け入れられなければ公認撤回ということも考える。

【女性】

このキャラクターも今回の騒動も知らなかった。知らないうち決められているのが腹立たしい。これから海女さんに相談してほしい。手順を踏めば協力は惜しまない。

【女性】

[ ]がこのキャラクターを使って商売をすることは構わないが、こと志摩市公認という言葉がついてしまったことがこのような事態を招いている。

【[ ]】

市の公認キャラクターであれば集客力が見込まれ、萌えキャラクターとしての集客力との相乗効果でより多くの集客が見込まれる。そのようなイベントを通して海女さんに何らかの形で還元

してきたいと考えている。

【男性】

考えは立派だが、やはりキャラクター制作に際して海女さんの同意を得るべきだった。

【          】

一部の海女さんからは応援の声をいただいている。反対の意見をしっかり受け止めるためにも今回このような場に参加した。

【女性】

イベントや宣伝で使うだけなら問題ないと思う。メグと同じ衣装を着ろというのなら反対するが、人間には本来の磯着を着せるわけだろう。現実と絵を混同してはいけないし、市にそのような意向があるとは思えない。

【部長】

もちろんそのようなイベントのときは、海女の方には本来の磯着をきていただきたい。

キャラ作るときに相談しなかったのは配慮が足りなかった。志摩を発信したいという気持ちが先走ってしまい、またこのようなデザインになったことで配慮に欠けたところがあり、そこは真摯に受け止めたい。

【女性】

これを機会に海女保存会で各地区の海女が話合えるような機会を設けて欲しい。

【部長】

今回の話を持ち帰り市長とも相談したい。